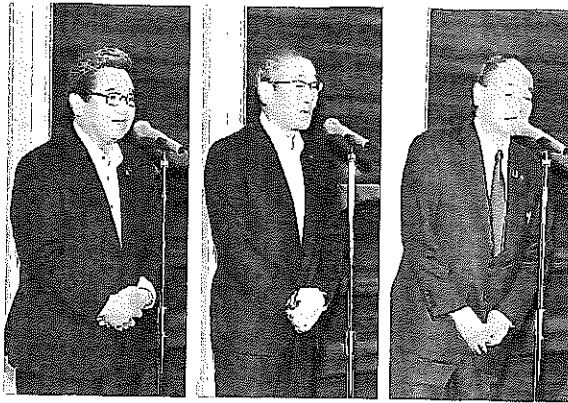


## 熊本・宮崎・鹿児島各県電設協が合同研修会

### 課題や取組みを報告



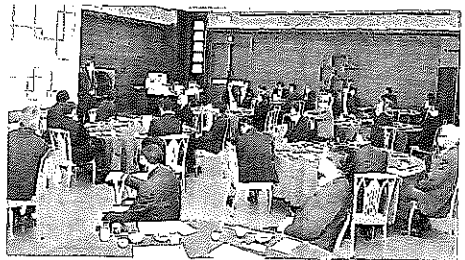
(左から)岩崎会長、牛島会長、畠田会長

熊本県電設業協会(岩崎裕裕会長)、宮崎県電業協会(牛島宏会長)、鹿児島県電設協会(畠田実会長)の合同研修会が10月27日、メルパルク熊本で開かれ、3県の会長が電気工事業界の課題や協会の取り組みなどを報告した。

情報交換と親睦を図ろうと年一回各県持ち回りで開催。今年には正副会長や理事ら57人が出席した。岩崎会長(不二電気工業)は、TSMCの熊本県内進出を取り上げ、「新工場の建設で来年には3000人から4000人の人員が必要と言わ

れている。県内経済効果も今後10年間で4兆円を超える見込み」と歓迎。一方で「工業系などの大学、高校、専門学校に通う地元の学生・生徒ほとんどが半導体関連企業へ就職していくのではないかと危惧し、電気工事業界における若者の人材確保が重点課題とした。牛島会長(延岡十電舎・延岡市)は、宮崎県協会が事業方針として掲げる▽組織の連携と情報発信▽公共工事の適切な受注確保▽人材の確保と育成の三つの柱を紹介。「組織の連携と情報発信では、優秀施工者を表彰する協会長表彰制度をつくり、今年度初めて表彰した。社員のモチベーション向上と業界のPRとなり、いずれは高校生

を対象にした表彰制度も構築したい」と入職者の促進にも繋げていく考えを示した。畠田会長(南電工・鹿児島市)も「人材の確保・育成へ何らかの手を打たなければならぬ」と強調した。その上で、鹿児島県内の専門学校とタイアップし会員企業の社員を講師として派遣した出前講座を説明し、「企業のPRや体験談、工具の取り扱いなど通常と違う授業を行って生徒や先生に大変好評だった。ま



た、若手人材確保に向けた新たな試みとして奨学金制度の立ち上げ準備を行っている」と報告した。社会福祉支援へチャリティゴルフ

27日は、研修会に先立ち、くまもと城南カントリークラブ(熊本市)でチャリティゴルフコンペがあった。3県の交流と社会福祉支援を目的に開催し、集まった収益金は福祉施設等で活用を予定している。ゴルフは52人がプレーし、ダブルペリア方式で自慢の腕を競った。結果、松尾知徳氏(飯塚電機工業)が優勝。準優勝は澁田富士夫氏(鹿児島県電設協会専務理事兼事務局長)、3位は松尾修一氏(飯塚電機工業)が獲得した。